

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

●健康・栄養

●環境

●人権

●供給

●次世代育成

> 基本的な考え方

> 体制

> KPI

> 森永乳業の次世代育成活動

次世代育成の環境を整える

●人財育成

●コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

次世代育成

基本的な考え方

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

森永乳業は社会をつくるのは、「人」であり、「人づくり」は、教育機関だけの仕事ではなく、社会全体が関わらなければならないと考えています。

これからの社会は、急速な情報化、グローバル化に伴い現在の常識の延長にはない社会になることが予想されています。教育面では、学習指導要領も改訂され、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことを目指しています。

そのような要望に応えるべく、森永乳業では自社の知見を活かして、次の時代を担う子どもたちを育成するプログラムを用意しました。これからも次世代を応援する企業として次世代育成を応援していきます。

体制

KPIの進捗、確認、報告は年に2回のCSR委員会（委員長：社長）にて行います。また、「重要取組課題：次世代育成」の責任者を関係本部の本部長が担い、KPIの推進責任者を関係部署の部長が担い、PDCAサイクルを回していきます。社内の次世代育成の事務局はCSR推進部が担い、関係部署と連携して推進しています。



KPI

活動の方向性	KPI
健康で豊かな生活の基礎力を獲得するための食文化や栄養を学ぶ場の提供（食育講座、キッズシアター）	2019年から3年間の延べ参加者数：30万人
自然の恵みと、それを活かす技術・研究を学ぶ場の提供（工場見学、森と食の探検隊、キャリア教育）	同上
次世代を育成する環境の整備	エンゼル110番での継続的な育児相談の実施。2020年度で延べ100万人の相談を受け付け

森永乳業の次世代育成活動

工場見学

森永乳業の商品がどのようにつくられているのかを実際にお客さまにご覧いただけるよう、東京多摩工場・中京工場・神戸工場の3工場で行っています。工場見学では、衛生的な製造施設、安全・安心を基本としたものづくりの姿勢など、森永乳業のこだわりを実感いただけます。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

●健康・栄養

●環境

●人権

●供給

●次世代育成

基本的な考え方

体制

KPI

▶ 森永乳業の次世代育成活動

次世代育成の環境を整える

●人財育成

●コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

森永リトルエンゼル育成プログラム 森と食の探検隊

「森永リトルエンゼル育成プログラム 森と食の探検隊」は、小学校4～6年生約30名を対象とした、野外教育活動です。自然の中での4泊5日の共同生活で、野菜の収穫体験、酪農、木登り、川遊び、工作、工場見学など、さまざまな「食べる」「創る」「遊ぶ」を通して、仲間たちと協力しながら「生きる上で大切なモノを自ら発見する」ことをめざします。



「キッズニア東京・甲子園」へのパビリオン出展

キッズニアは、子どもたちが憧れの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる「子どもが主役の街」です。リアルな職業・社会体験を通して、未来を生きぬく力を育むことができるというキッズニアの想いに共感し、森永乳業はオフィシャルスポンサーとして2012年からキッズニア東京に、2016年からはキッズニア甲子園にも「ミルクハウス」パビリオンを出展しています。「ミルクハウス」では、ミルクフードメーカーになってお客さまの喜ぶ商品を企画し、完成させます。この仕事を通じて子どもたちに伝えたいことは、①お客さまに新しい「付加価値」を提供する職業の体験・理解、②牛乳・乳製品に親しみを持ってもらうこと、③酪農業界への理解・関心を持つことです。



キャリア教育

小学校向け出前授業

乳で培った技術を活用し、次世代を担う子どもたちが健康で豊かな生活の基礎

力を獲得できるように支援することを目的に、2015年からはじまりました。体づくりに大切な小学生の時期に、身近な食品である牛乳を教材にして、パッケージに掲載されている情報を読み解きながら、毎日給食に牛乳が出る意味を考えるという45分間のプログラムです。

実施実績

	2015	2016	2017	2018
実施回数(回)	1	3	4	5
参加者数(名)	31	80	132	327

中高生向けキャリア教育

子どもたちを取り巻く社会構造や価値観の変容により、望ましい勤労観や職業観の不足が指摘されている中、教育分野の社会的課題の解決に貢献するため、2014年より株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュートが運営する中・高・大学生を対象としたPBLプログラム(Project Based Learning)に協力しています。

企業が提案する課題に企業の一員となって取り組み、その結果をプレゼンテーションすることで、職業観、勤労観、道徳観の育成など、社会に出たときに必要となる「生きる力」を育むことを目指しています。

当社従業員は学校へ出向く、またはインターネット通信などで参加してアドバイスをを行い、生徒や学生の学びを支援しています。

実施実績

	2015	2016	2017	2018
実施回数(回)	20	23	20	19
参加者数(名)	1,000	1,048	874	774

※企業インターワークは参加企業と選択プログラムの増加に伴い、1社あたりの参加人数が減少

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
 編集方針
 会社情報
 コーポレートミッション
 トップコミットメント
 サステナビリティへの取り組みのあゆみ
 森永乳業のCSR
 7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- **次世代育成**
 - 基本的な考え方
 - 体制
 - KPI
 - ▶ 森永乳業の次世代育成活動
 - ▶ **次世代育成の環境を整える**
 - 人財育成
 - コーポレート・ガバナンス

データ集
 第三者保証
 GRIスタンダード対照表

ツアーオブバレーボール

元オリンピック選手による技術指導と、当社の商品とサービスを通じて食の大切さを伝えることで、女子中学生アスリートの成長支援につなげることを目的に2016年から全国でバレーボール教室を実施しています。



実施実績

	2016	2017	2018
実施回数(回)	21	22	23
参加者数(名)	2,317	2,277	2,398

次世代育成の環境を整える

育児に関する無料電話相談 エンゼル110番

1970年代の高度成長期に核家族が急増し育児環境が大きく変化した時代の社会状況を背景に「子育て奮闘中のお母さんたちのお役に立ちたい」という思いから、1975年5月に無料の育児電話相談窓口として開設しました。妊娠中からお子さまが小学校に就学する前までの妊娠・育児に関する相談をお受けしています。これまでにお受けした電話相談は988,318件(2019年3月現在)にのぼります。相談内容は、「何をどれだけ食べさせればよいか」といった“食生活”、「子どもを育てる自信がない」といった“相談者自身”、お子さまの“発育・発達”に関することなど多岐にわたります。

また、地域の子育て応援施設のイベント参加や看護学生の受け入れ、従業員の育児サポートセミナーの開催など電話相談以外の活動にも取り組んでいます。

相談員は、不安・悩み・疑問に耳を傾け、一人ひとりが自分なりに問題を解決できるよう一緒に考え、相談者の不安を取り除くことを基本姿勢としています。これからも妊娠・育児に奮闘する皆さまのサポーターとしてお役に立ちたいと考えています。

「エンゼル110番」相談件数

